

令和元年度 福島小学校 学校関係者評価

番号	評価項目	よくできている		できている		あまりできていない		できていない		自己評価 4~1	考察(現在の状況における成果◎と課題●) ※番号:評価項目	評価者からのコメント (成果◎、課題●)	判定	
		児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者					教師
①学習指導	1 分かりやすい授業が実践されている。(短く分かりやすい話し方、ICTの活用、活用力の重視、家庭との連携)	71%	30%	23%	25%	65%	55%	3%	5%	23%	1%	0%	0%	3
	2 授業中の児童は、積極的に発表するなど意欲的に取り組んでいる。	30%	16%	14%	40%	59%	77%	24%	23%	9%	6%	2%	0%	
	3 読み、書き、計算などの基礎学力が身に付いている。	51%	14%	10%	37%	60%	48%	9%	24%	33%	3%	2%	10%	
	4 家庭学習の習慣が身に付いている。(決まった時間以上学習することができる。)	59%	11%	62%	26%	52%	24%	10%	33%	14%	5%	4%	0%	
	5 読書活動が充実している。(朝の読書、読み聞かせ、うち読~ノーマディア、学校図書館利用)	43%	10%	10%	29%	52%	52%	16%	19%	19%	13%	2%	19%	
	6 生き物や植物を大切にしている。(道徳、生活科・理科、飼育・栽培等)	68%	18%	17%	22%	69%	74%	6%	12%	4%	4%	1%	4%	
	7 地域との連携を図っている。(ふれあい参観日、くしまウオーケラリー、宿泊学習等)	40%	16%	13%	33%	71%	83%	15%	11%	4%	11%	2%	0%	

1◎…分かりやすい授業が実践できるようになるために、日々努力している。職員研修では、教科ごとにチームを作って、互いの授業を参観し合い、改善点を話し合うことで、授業力の向上に努めてきた。また、教育委員会や教育事務所の指導主事に、年間3回授業を見てもらい、その中で指摘された課題の改善にも取り組んできた。児童の7割が「授業が分かりやすい」と回答しているのは、それらの取組の一定の成果であると考え。

1・3●…一方で、「分かりやすい授業があまりできていない」と回答している教師や、基礎学力があまり身に付いていないと回答している児童、教師が多いことは課題である。授業力に関しては、先に述べた取組を継続していくとともに、「話を聞く」「学習用具をきちんとそろえる」などの学習の決まりを徹底させ、児童が集中できる環境で授業が実践できるように努力していきたい。基礎学力については、復習をしっかり行うことが必要であると考え。そこで、今後は、朝の時間や授業の終わりなどに復習のプリントを繰り返し行うことを全校を挙げて取り組んでいきたい。

4●…家庭学習については、保護者の評価が低い。宿題や自学に対して、しっかり目を通し、評価をしていくとともに、参観日に保護者に対して、宿題の声かけや見届けをお願いしていく必要がある。

5◎…読書活動については、PTAや地域の方による読み聞かせや図書委員会による本の紹介などさまざまな取組を行ってきた。しかし、「本をあまり読んでいない」と回答した児童が約3割いるとともに、読書活動に対する教師の評価も低い。今後は、学級で図書室を利用する回数を増やすとともに、朝の読書の時間をもっと増やし、児童がたくさん本に親しめる環境作りを行っていきたい。

7◎…地域との連携については、総合的な学習の時間を中心に、たくさん地域の方の協力をいただいた教育活動を展開することができた。次年度は、新しい年間指導計画に変わるが、今年度同様、地域人材の積極的な活用を行っていきたい。

◎児童に分かりやすい授業を行うために、先生方が共同で取り組んでいる姿勢が伝わってくる。児童のアンケートの結果からも、分かりやすい授業が実施されていると感じる。さらなる授業の充実を期待している。

◎算数の少人数指導が効果的であると感ずる。

◎学習活動の中で地域の方々との交流に取り組んでもらい、嬉しい限りである。地域の人々、もの、文化に触れることで、さらに郷土への理解を深め、郷土愛を育ててほしい。

◎教職員、PTA、ボランティア、地域の方々の協力により充実した学習の取組であった。

●基礎学力の定着を図るためには、学校で学習した内容を家庭で復習する習慣を身に付けることが大事である。家庭との連携の強化もちろんであるが、児童への意欲付けを図る手立てを工夫してほしい。活動のさらなる充実を期待している。

●学校では本に親しませるために、読み聞かせや本の紹介などいろいろな取組がなされていると感じる。しかし、児童が自主的に読書に取り組むようになるのは難しい。読書の時間の確保や図書室を利用しやすい環境作りが大事である。

●生き物や植物を大切にしている心育てる取組を充実させてほしい。

②生活指導	8	いつも「福島小 当たり前のこと3か条」を意識させて学校生活を送らせている。	38%	21%	42%	67%	13%	13%	6%	0%	3	<p>8◎…「福島小 当たり前のこと3か条」については、指導週間において教師の呼びかけや委員会の活動が行われている時は成長が見られた。今後は、「朝の会、帰りの会で教師が常に呼びかけること」「委員会の取組をもっと活発にすること」を実践し、改善を図っていきたい。</p> <p>10●◎…きまりやマナーについては、よくできていると回答している割合が、児童と教師の間で大きな隔りがある。もっと改善していかなければならない実態を児童に伝え、意識を高めさせる必要がある。シューズやトイレのスリッパ並べ、雑巾のかけ方については、1学期大きな課題であったが、管理職や担当職員による放送での注意喚起、委員会活動による自主的な呼びかけによって、ずいぶん改善されたことは大きな成果であると考え、今後も継続していきたい。</p> <p>総括◎●…福島小の児童はみんな素直であるが、時々、相手のことを顧みない言動で、トラブルになることがあった。その都度、管理職に報告し、丁寧な指導を行うとともに、場合によっては保護者に連絡をしてきた。今後は、児童の良好な人間関係は安定した学級経営が基盤という認識のもと、授業改善を中心としながら、あたたかい学級の雰囲気作りをめざしたい。その中で、道徳教育をしっかりと行うとともに、集会等で思いやりについての話を行っていききたい。また、問題行動については、これまで同様、管理職と連絡をとりながら組織として対応し、保護者の協力も得ながら、一体となって児童の心を育てていきたい。</p>	<p>◎望ましい生活習慣形成、あたたかい心の育成など、学校が一丸となって組織で取り組んでいる姿が見られ嬉しいかぎりである。これからも全職員・全児童の中で共通理解を図り、共通実践を行ってほしい。</p> <p>◎児童が元気よくしっかりあいさつができていけると感じる。</p> <p>●遅れて登校している児童、正門前の駐車などを今後の課題として対応してほしい。</p> <p>●特に児童に身に付けさせたい基本的な生活習慣を3つに絞って、「当たり前のこと3か条」として重点的に取り組んでいる様子が伝わってくる。しかし、18%の児童が、不十分と回答していることから、もっと児童が意識して行動するよう呼びかけに努めて欲しい。</p>				
	9	児童理解に努めている。	65%	35%	33%	23%	56%	67%	7%	8%				0%	5%	1%	0%
	10	児童は「福島小よひの子の一日」や社会のきまりやマナーを守っている。	47%	16%	4%	38%	68%	78%	10%	14%				17%	5%	2%	0%
	11	児童は思いやりの心をもって友達に接している。	63%	20%	21%	27%	72%	58%	8%	7%				21%	2%	0%	0%
	12	児童は清掃活動に積極的に参加している。	60%	8%	29%	25%	37%	67%	11%	45%				4%	4%	10%	0%
③保健安全指導	13	児童の主体的な取組を促す手立てを明確にした体育的行事が計画されている。	79%	25%	8%	14%	68%	92%	5%	5%	0%	2%	1%	0%	3	<p>13◎…運動会では、種目を少なくすることで開催時間にゆとりをもたせた。児童が主体的に取り組み、全力で競技したことで充実した大会となった。種目が少なく物足りないという声も一部にあったが、運営側や観覧する保護者の負担軽減と熱中症対策など児童の健康面での安全を考慮して、今後も本年度並みのプログラムを計画し、さらなる内容の充実に向けていきたい。</p> <p>15●…早ね・早起き・朝ごはん等、基本的な生活習慣に関するアンケート項目では保護者の27%が否定的な回答をしている。特に登校時間が遅い児童が目立つので、そこをきっかけとして、早めの登校を熱心に呼び掛けることで、家庭と連携した基本的な生活習慣の定着を目指していきたい。</p> <p>16◎●…避難訓練は定期的実践することができた。昨年度に引き続き、串間警察署の指導を受けながら、低学年を対象に避難訓練を実施し、不審者対応の実際を学ぶことができた。次年度は風水害の避難訓練において、保護者の送迎も視野に入れて、より実践的な訓練を行っていききたい。</p>	<p>◎熱中症対策を考慮した児童主体の運動会が実施された。保護者の参観マナーもよくなった。時間は少し短くなったが、内容が濃く充実していた。学校とPTA役員の連携と呼びかけの賜である。</p> <p>●「早ね・早起き・朝ごはん等の定着」「手洗い・うがい等の定着」は、安全で健康的な生活を送る上で最も大切な項目である。指導に対し、ありがたいと感じる。今後は、これらを守らないために起きる影響や病気などを説明し、定着が図れるよう呼びかけをお願いしたい。</p> <p>●防災士と連携した避難訓練を通して、危機意識を高め、命の大切さをしっかりと学んでほしい。</p>
	14	家庭との連携の中で食育の推進を図っている。	62%	25%	5%	20%	72%	81%	13%	3%	14%	6%	1%	0%			
	15	早ね・早起き・朝ごはん定着の呼びかけを行い、手洗い・うがいなどの基本的な生活習慣の定着を図っている。	46%	18%	14%	33%	55%	82%	13%	24%	5%	8%	3%	0%			
	16	児童の危機意識を高め、迅速かつ安全に行動する避難訓練を実施している。	59%	21%	33%	26%	72%	67%	7%	7%	0%	7%	1%	0%			
④学校運営全般	17	保護者が学校の様子を参観しやすい環境を作っている。	22%	21%	69%	79%	9%	0%	1%	1%	0%	3	<p>17◎…保護者が参観しやすい環境の項目では、9割の保護者から肯定的な回答をいただいた。引き続き、職員が明るく元気に職務に当たり、社会に開かれた学校づくりに努めていきたい。</p> <p>18◎●…ホームページの更新、学級通信等の定期的な配付はしっかり行ってきた。今後は、行事の案内や連絡事項などの情報を早めに分かりやすく知らせ、できる限り保護者のニーズに応えていきたい。</p> <p>20◎●…いじめのない学校づくりに関して、日頃の観察や定期的なアンケート、職員どうしの情報共有を行い、未然防止に努めてきた。問題と思われる行動があったときは、関係職員で話し合い、丁寧な指導と保護者への連絡を組織的に行ってきた。一方でアンケートでは保護者の23%が否定的な回答をしている。不安に感じている保護者がいることをしっかりと受け止め、「いじめはいつでも起こりうる」という危機感を常にもちながら、引き続き児童を見守っていききたい。</p>	<p>◎地域に開かれた学校づくりが実践されている。今後もHP配信や学級通信等の配付を定期的に行い、情報提供に努めてほしい。</p> <p>◎いじめのない学校づくりが学校全体で取り組み、未然防止に努められている。今後も日々の児童観察やアンケートを通じて児童理解につとめてほしい。</p> <p>◎参観日は課題も多いが、少しずつ解決していると感じる。</p> <p>●いじめの項目で否定的な回答をしている児童や保護者がいるということは、表面化しにくいいじめもあることが考えられる。「いじめはいつでも起こりうる」という危機感をもって、今後も児童が明るく楽しく過ごせる環境をつくってほしい。地域でも見守っていききたい。</p>			
	18	ホームページ等や学級通信等で学校の情報を紹介している。	15%	25%	68%	71%	16%	4%	1%	0%	0%						
	19	PTAの協力を得るなどして環境美化に努めている。	20%	26%	76%	74%	3%	0%	1%	0%	0%						
	20	いじめのない学校を目指して努力している。	56%	10%	46%	32%	68%	54%	7%	18%	0%				5%	5%	0%